

表紙	P3
・今も続く「最も小さくされた人々」への支援 ・あなたも購読しませんか?『生活と自治』	・活動報告「上和田草取り交流会」「ライフプラン講座」「原発事故被災者の救済を求める全国運動 第3期 請願署名」 ・職員紹介 ・消費材紹介
P2	P4
・熊本地震支援活動を通して協同組合の助け合いの精神をあらためて実感する ・熊本地震救援カンパ報告	・大きく育て福祉の樹「街づくり夢基金」 ・エコ給付状況報告 ・子育てひろば案内 ・理事会報告・おたよりネット・編集後記

りっぷる エスコープ大阪機関紙

# Ripple

第164号

16. 8 29

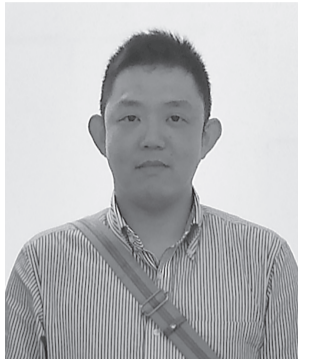
## 今も続く「最も小さくされた人々」への支援

4月14日から多発した熊本地震の被害が深刻化しました。現地では、困窮者支援、子ども支援、東日本大震災被災者支援や環境問題などの活動をしてきたさまざまな団体が、それぞれ支援活動を始めていましたが、民間支援団体が結集して対応することが必要だと考え、4月19日にネットワーク組織、「こころをつなぐよか隊ネット」(以下、よか隊ネット)が結成しました。その中心団体である「共生地域創造財団」\*(以下、財団)を通じて生活クラブ連合会の一員として、4月23日より約1ヵ月間、エスコープ大阪の職員も支援活動に参加しました(2面参照)。

財団の職員であり、よか隊ネットの事務局次長を務める江崎太郎さんは、東日本大震災の際も現地で活動され、今回の地震の際も本震後すぐに熊本入りし、事務所の立ち上げから関係団体との調整、現場での支援活動と奮闘されました。現在も熊本で支援活動と加盟団体のネットワークグループ作りを進めています。

(聞き手:理事会事務局 京嶋 孝之)

\*東日本大震災後に、生活クラブ、グリーンコープ、ホームレス支援全国ネットワークが「公益財団法人 共生地域創造財団」を設立し、財団を通じて東日本大震災の復興支援を続けています。



公益財団法人 共生地域創造財団 職員  
「こころをつなぐよか隊ネット」事務局次長  
**江崎太郎さん**

### 緊急支援から長期的な支援へつなぐことの重要性

京嶋 よか隊ネットから見た熊本の現状はいかがですか?

江崎 本震直後は、熊本市内にも車中泊が多く見られましたが、気温の上昇や大雨など過ごしにくい天候になり、市内の車中泊はかなり減っています。また、市内は比較的被害が少なく、本震から3ヵ月以上経過したことで、「家は無事でも怖くて帰れない」「家で眠れない」という心の問題を時間が解決してくれているように感じます。

しかしまだ益城町周辺では車中泊やテント泊の避難者がいます。避難が長期化している人々は、生活困窮など災害前からあったであろう問題が顕著に現れてきていると思います。行政の支援からもれていた人々への支援にも取り組んでいます。

京嶋 他団体も含め熊本の支援活動の状況はいかがですか?

江崎 県外の支援団体はかなり減っています。地元団体も日常生活のため活動が制限され、活動量は減っています。県庁で行われていた会議も当初100団体以上が参加していましたが、現在は10団体ほどです。最終的な支援の繋ぎ先を地元で持っていない団体は、緊急的な支援はできても、その後の支援に困っているのが現状です。

よか隊ネットの加盟団体は結成

当初は8団体でしたが、現在70団体で、そのうち地元団体は50団体ぐらいです。よか隊ネットに病

院や弁護士、不動産屋、NPOなど多種多様な団体が加盟していることで複合的な支援がスムーズに行えるため、加盟団体が増加している

と思います。行政では対応しきれない多様な問題への最終的な支援の窓口として、よか隊ネットが存在しています。

### 「助けて」と言えない人に寄り添う支援

京嶋 現在のよか隊ネットの支援内容はどのようなものですか?

江崎 熊本市内はプレハブ仮設が少なく、みなし仮設(借りあげマンションなど)に移る人が多く避難者が点在してしまい、継続的な支援が困難になっています。地震発生直後に比べて、どこに避難者がいるのかが見えにくい状態です。夜間巡回で1人でも多くの被災者と顔の見える関係を築くことで、継続した支援を行うことができています。

その他、上小谷という地域で支援活動をしています。山の斜面の擁壁が崩壊したことで生活がままならず、修復費用もなく助成もない状態で、擁壁の上下に住む住民同士の関係も悪くなり、途方に暮れ問題を抱えています。被災しながらも仕事や生活再建に忙しく余裕のない状態で、個人が必死に行政に対して助成をお願いしても「今は無理」と言われてしまつて終わりです。そこで、わたしたちは住民との信頼関

係を築きながら、地域の声を集めて行政に助成を陳情する支援準備をしています。この支援は、他の地域の同じような問題解決にもつながると考えています。社会的に孤立した人や集落にやりすぎと思われがちな偏った支援をします。「助けて」と言えない人に寄り添う支援が必要です。

京嶋 今後のよか隊ネットの課題などはありますか?

江崎 当初想定していた倍以上の加盟団体になり、足並みを揃えて活動することは非常に困難ですが、その多様性を活かしたネットワークグループを作り上げることが必要です。

また、先々は地元団体を中心となつてよか隊ネットを運営していくように、事務局は現在、私以外の2名は地元の人たちです。継続的な支援活動を実現するため、地元熊本の方々を中心とした体制づくりに注力していきます。

よか隊ネットは熊本支援活動のために結成された団体で、活動と並行して組織を作り3ヵ月。組織を作るための活動にならないように、被災者に寄り添いながら頑張ります。

京嶋 表面的な問題はある程度出尽くして、メディアや人々の関心は下がっています。しかし、本格的な復興に向けてはこれからです。この活動を組合員へ、組合員から多くの人が発信していきたいと思

こころをつなぐ  
よか隊ネット

HP: <http://yokaitainet.com>  
Facebook: <https://www.facebook.com/kumamotoyokaitai>  
よか隊ネットの活動状況はこちらをチェック

## あなたも購読しませんか?『生活と自治』

『生活と自治』は、生活クラブ連合会が、情報事業のひとつとして発行する「協同組合による生活者の新聞」です。今日、多様な情報が氾濫する現代社会にあつて、生活者の自治と自立につながる報道を目的とし、「生活クラブ連合会憲章」の精神を基本とした視点で、協同社会の民主的、自立的発展に寄与することを使命とします。

「生活者のための情報も共同購入する」という趣旨から、おおぜいの組合員に購読していただいています。購読料は毎月100円です。共同購入代金と一緒に口座引き落としとなります。(現在店舗組合員の方は購読できません。)

2016年11月号の掲載予定 特集 日本の魚食はどうなる?

- \*ファストフィッシュが漁業を減ぼす
- \*資源枯渇、過当競争、魚価低迷…漁師の悩み
- \*Myオピニオン 澤地久枝さん(ノンフィクション作家)
- \*連載 田口ランディ「暮らしの味わい」/枝元なほみ「えだもの目」
- \*これに賭ける!「長崎県漁連 食べるイリコ」



『生活と自治』  
2016年8月号

お申込み・お問合せ エスコープ大阪 理事会事務局  
☎072-293-4660

# 熊本地震支援活動を通して 協同組合の助け合いの精神を あらためて実感する

4月14日から発生しました熊本県を中心とした地震で被災された多くの皆様には心よりお見舞い申し上げます。幸いなことに生活クラブの提携生産者に人的被害はありませんでしたが、生活クラブ連合会の支援活動の一環として、余震が続く中、エスコープ大阪の職員が先陣をきって被災地に入り、関西圏や愛知県の生活クラブと協力して支援活動をすすめました。また、組合員のボランティア活動や多くのカンパ拠出もあり、協同組合としての助け合いの精神を肌で感じる機会となりました。現時点での熊本地震支援活動について報告します。

## 実際に活動をしてわかった 自然災害の脅威

4月14日(木)21時26分  
熊本県熊本地方でM6.5の地震が発生

### 第1陣 4月23日(土)〜

たすけあい事業推進フロア 陶山和彦  
理事会事務局 京嶋孝之  
フェリーで泉大津港から九州(新門司港)へ、翌日24日(日)に到着。  
熊本市内ではひどい倒壊は見られませんでした。外壁の瓦礫や地震で破損した家財ゴミなどが家屋周辺に山積みになっていました。被害がひどかった西原村では築数十年経過した重い瓦の住宅は全壊状態で、外壁や石垣なども倒壊がいたるところで見られました。



ほぼ全ての住宅が全壊した集落(西原村大切畑地区)

到着した時の現地支援団体事務所はガラシとして少しの支援物資があるだけでした。具体的な支援活動の計画も何もなく、一気に不安に襲われました。車中泊が多いということを報

道で耳にしていたこと、東日本大震災支援の際に避難者がどこにいるのか、実際に歩き回って地図を作った活動していた人がいたことを「よか隊ネット」の江崎さんから聞き、その場に居合わせた5人で車中泊している方へのアンケート調査を始めました。これが後に行政への提言につながる調査になることを、この時は思いもありませんでした。その後は地元団体と連携して夜間の車中泊調査と炊き出し、日中の調査準備、物資の運搬が主な活動内容でした。

### 第2陣 4月30日(土)〜

共同購入フロア 村上 好  
共同購入フロア 榎本 昌俊  
滞在期間中は炊き出しの予定が詰まっていたため、日中は買い出し・下準備、運搬、夜は公園の駐車場等で車中泊をされている方の情報収集と、必要な支援の聞き取りをおこないました。実際、一度の聞き取りで話してもらえないことが多く、気になった人には何度も足を運んで声をかけることで必要な支援を聞き出せることがあり、今後



車中泊避難者の数など調査した結果を記した地図

の調査の方法・支援の内容などを話し合いました。

### 第3陣 5月7日(土)〜

たすけあい事業推進フロア 妙中則夫  
たすけあい事業推進フロア 松山 秀幹  
支援活動は引き続き、炊き出し・車中泊調査・アンケートの設営などをおこないました。夜間、アンケート方式で情報を集め、「なぜ、車中泊・テント泊をしているのか」「健康面」「今後の見通し」などを聞き取り、集約しました。熊本県市へ「要望書提出」の機会があり、公的支援からこぼれ落ちている多くの被災者がいること、その人たちへの支援の必要性を訴え、その後の記者会見まで同行しました。マスコミによる報道の後、熊本県内外から多くのボランティア組織が来られ、支援の輪が広がったように感じました。



マスコミとの会見で車中泊の現状を報告

### 第4陣 5月14日(土)〜

共同購入フロア 吉積直也  
たすけあい事業推進フロア 陶山和彦  
地震発生後1カ月間は、熊本市内での支援活動が中心でした。車中泊避難者に足を伸ばして寝てもらうためのテントの無料配布や、都市部での炊き出し、それ以外には、益城町を中心に活動している団体の支援物資配布の手伝いをおこないました。避難者も少しずつ減っていますが、まだ車中泊をされている方もいます。特にお子さんの心理的ケアは長期にわたって必要だと思いました。



テント設置のお手伝いをした東区の公園



避難所前で炊き出し(御船町スポーツセンター)

4月30日(土)・  
5月2日(月)〜5月4日(水)

## 組合員による、ミニトマトの 小分けパック詰め作業風景

エスコープ大阪と生活クラブ都市生活のミニトマトの生産者である「吉水農園」は、熊本県の益城町にあります。生産者に人的被害はなかったものの、地震の影響でミニトマトの小分け作業ができません。そのため、組合員自らがミニトマトの小分け作業を行うことにしました。エスコープ大阪と都市生活の組合員合わせて28名とその家族の小学生から高校生8名で、2生協の組合員へ配達する1週間分のミニトマト2千89パックと即売分の148パックを、エスコープ大阪本部で4日間パック詰めをしました。割れないか確かめ、ぬれたミニトマトは拭きながらパックに詰め、きちんとフタを閉めたつもりでも開いていたり、再度点検作業もしました。簡単な作業でも組合員の皆さんに届くと思つと、和やかな雰囲気の中にも緊張感がありました。



益城町に住むミニトマトの生産者の吉水農園さん(右)



ミニトマトのパック詰め作業風景



組合員たちの手でパック詰めしたミニトマト

## 生活クラブ連合会 「熊本震災救援カンパ」報告

※7月12日時点

<現在のカンパ集約状況(19週から26週まで)>

単協、生産者関連など	合計80,719,822円
内、エスコープ大阪 共同購入	4,409,000円

※この他、韓国語講座「ふれあい共生塾」の皆さんから45,055円のカンパをいただきました。

<現在のカンパ拠出状況>

支援内容	金額
被災地の生協であるグリーンコープ生協くまもと・グリーンコープ共同体へ	3,000万円
「よか隊ネット」の活動に参加している共生地域創造財団へ	2,000万円
日本生協連へ	1,500万円
被災のあった生産者へのお見舞い	30万円
生活クラブ連合会、会員生協、関連団体が行っている物資支援・現地入りのための交通費など	346万円



大人用おむつなど、緊急支援物資を届けました

**上和田草取り  
交流会**  
7月16日(土)  
～18日(月)  
山形県東置賜郡高島市

堺市街地地域理事 池田 佳子  
泉北ニュータウン地域委員  
仲村 万希子

**上和田の人たちの温もりを伝え、  
有機農業の精神を共に受け継いでいく**

新幹線に揺られ高島駅に着き、早速「圃場巡回」に同行しました。40人近い生産者がそれぞれの圃場の様子を見て回る、年に1度の恒例行事に私たちも分かれて同行しました。その後の報告会では、稲の生育の様子や雑草などの情報を交換・共有し、稲刈りまで、よりたゆまぬ努力を約束し、励まします。夜の「さなぶり交流会」では、笹餅やわらび汁、きゅうりの三五八漬けなどの郷土料理を前に、有機農業への想い、稲作に欠かせない「水」「雪」の話や趣味の話も聞かせていただき交流を深めました。



初めての交流訪問から約30年。生産者の「今まで大不作などいろいろなお互いを想い合い、支え合い、約30年間交流が続けてこれた」ということはそうそうないこと。エスコープ大阪さんにも皆さんのような後継者ができて、我々もうれしい限りです」という言葉に、組合員としてうれしく思いました。

境に配慮した生活に取り組み仲間であることに改めて実感しました。

3日目は精米施設「米工房たかはた」で、大切に育てられた「上和田米」が初からエスコープ大阪用に袋詰めされるまでの工程や設備を見学しました。

農作業のお手伝い。私たちが民泊したお宅の洗面台に生活クラブのせっけんが数種類置かれていて、遠く離れていても環



支え合う仲間がいることを実感できたこの訪問に感謝し、上和田の人たちの温もりを伝えていくことは、この地に根づいた有機農業の精神を共に受け継いでいくことに繋がります。今後もこの交流を続けていきたいと強く思いました。

**原発事故被害者の  
救済を求める  
全国運動  
第3期 請願署名**

5月16日(月)  
～7月1日(金)

環境担当常務理事 泉 容子



自然エネルギー大好き委員会から1名が参加しました

**原発事故被害者に「健康に生きる権利」を！  
賠償打ち切り・帰還の強要に反対します**

面を支えることを目的に作られた法律です。しかし、法律はできものの具体的な政策が実施されていません。過去2回にわたって全国で請願署名に取り組み、賠償の時効を3年から10年に延ばす特例法の成立など一定の成果はありましたが、まだ課題は多く「子ども・被災者支援法」の理念の実現からはほど遠い現状です。

福島第一原発事故が起きた翌年の2012年に成立した「原発事故子ども・被災者支援法」は原発事故によって被害を受けた子どもや住民に対する「避難の権利」を認め、健康面や生活

面を支えることを目的に作られた法律です。しかし、法律はできものの具体的な政策が実施されていません。過去2回にわたって全国で請願署名に取り組み、賠償の時効を3年から10年に延ばす特例法の成立など一定の成果はありましたが、まだ課題は多く「子ども・被災者支援法」の理念の実現からはほど遠い現状です。

福島県では事故発生から5年が経過しても収束の目途は立たず、多くの人たちが避難生活を続けています。政府は避難指示の早期解除・帰還促進の政策を進めており、住宅支援や賠償の打ち切りによって避難者が貧困に陥ることも懸念されます。

原発事故被害者の生きる権利を守るための第3期 請願署名運動が全国で実施され、エスコープ大阪では5月に組合員に署名用紙を配布して呼びかけました。請願内容は①無償住宅支援の継続②早期の避難指示区域の解除と賠償の打ち切り方針の撤回③健診の充実・拡大と医療費の減免を求めるもので、この問題を多くの人に知らせ、世論を持って政治を動かしたいとの思いで全国100万筆を目標に取り組みました。エスコープ大阪では1896筆、生活クラブ全体で64815筆集まりました。

小さな一筆の署名活動が大きな運動となり社会を変えることができると思います。

店舗地域  
**ライフプラン講座  
「はじめて学ぶ  
損害保険」**  
7月14日(木)  
城山台地域会館

店舗地域委員会担当事務局  
橋本 純代

**意外と知らない  
損害保険の中心**

今回のライフプラン(LP)講座では、現在掛けている損害保険について、どんなことを確認し、何を見直すかを教えていただきました。損害保険といえば「自動車保険」「火災保険」「地震保険」「傷害保険」などが代表的です。大阪府では今年7月1日から条例により、自転車保険への加入が義務化されました。

し「立地条件・建物の価値」を見直すことが大切だと教わりました。風災被害が少なく立地なから風災の保障を外すことを検討したり、建物の価値も年々下がっていくので見直しが必要で、保障内容を確認し見直しが必要です。保障内容を把握せず、「保険を掛けているから大丈夫だ」と思っている必要のない時に支払われなかったり、保障の対象外だったりするかもしれない。一度、保険証書を確認してみてくださいいかがでしょうか。



**情報発信をすることで  
組合員さんとのつながりを築きます**



**梶本 昌俊(41歳)**  
エスコープ大阪在籍年数 17年  
[共同購入フロア 河内長野支所長]

日頃よりエスコープ大阪をご利用いただき、ありがとうございます。今年度より河内長野支所の支所長を務める梶本と申します。1999年の4月に配達職員として入社致しました。初めて受け持ったエリアは「泉北ニュータウン」でした。その頃は現在とは違い、受取のある班の配達量が多かったと、さまざまな組合員さんとの出会いがありました。組合員の皆さんと

の会話の中で、消費材の知識や使い方を教えていただき、学びました。その後、配属になった組合員拡大(仲間作り)チームで、組合員さんとのコミュニケーションで得た知識がとても助けになりました。現在は、お勤めをされている方や、ご年配で受け取りが難しいなどの事情で個人配達の方が多くなり、配達に伺ってもお会いすることができない方も多くなりました。以前を知っている私としては大変寂しく思います。しかし、担当者ニュースや電話など、今までとは違った形で情報を発信していきたい。組合員さんとの繋がりを続けていけるよう河内長野支所一同、取り組んでいきたいと思っております。これからも宜しくお願いいたします。

**家庭でも本格的な  
つまみれ汁が  
簡単に楽しめます**

**話題の消費材  
登場**

私のおすすめは「さんまつまみれ汁」です。この消費材に出会ったのは、2年前の「食のフェスタ」。初めて口にしたときは、おいしさに感動しました。嫁と子どもにもすすめると、とてもおいしいと気に入りました。今ではわが家の常備品です。子どもは3歳ですが、魚を食べさせる時は骨を取り細かくほぐさないと食べませんが、このつまみれ汁なら、そのままでも安心して食べさせることができます。

調理の仕方も簡単で、流水で半解凍後つまみれを丸め、スープに入れるだけで完成。アレンジで、つまみれを丸める時に卵・しょうが・味噌・片栗粉を混ぜ、スープにきざみねぎやみょうがを入れると彩りも良く、さらにおいしくなります。2パックに分かれているので家族人数に合わせて半分ずつ使うこともできます。お酒を飲んだ後など、ほっこりできる一品です。



**さんまつまみれ汁  
(スープ付き)**  
300円(税込324円)  
(さんま120gスープ30g)  
三重県漁連  
北海道東沖から三陸  
北道道道で獲れたさんま  
をミンチ状(落とし身)にし、  
つゆとセットしました。

荒矢 祐輔  
共同購入フロア職員

「ふーどばんくOSAKA」のお話を聞いて

7月5日(火)、昨年度の「街づくり夢基金」の助成を受けた認定NPO法人「ふーどばんくOSAKA」の方に来ていただき、街づくり夢基金助成団体報告会を行ないました。

毎月、拠出はしているけど今まであまり実感がなかった街づくり夢基金。その助成先にふーどばんくOSAKAが選ばれて急に興味を持ちました。こんなに食べ物があり余っているように思えるこの日本で6分の1の子どもの貧困で食べるにも困っている。同じ子どもを持つ母親として他人ごとではありません。ふーどばんくOSAKAでは大型店舗や個人、企業から、安全に食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物を回収して児童養護施設や子ども食堂などに配っています。今回の助成金で作成した、活動の説明をするパンフレットは広報活動にとっても役立ち、新たな食品メーカーや個人からの食品寄贈が増えたそうです。

街づくり夢基金の助成事業は赤ちゃんからお年寄りまで、幅広い年齢の人たちに役立つのだと実感できました。 堺市街地地域理事 南楚 美可

街づくりをしたい人の  
応援団 街づくり夢基金



「大きく育て福祉の樹」では、エスコープ大阪の「たすけあい」のしくみについて紹介していきます。今回は、エスコープ大阪の呼びかけによって設立された「街づくり夢基金」についてお伝えします。

市民による地域・街づくりの  
応援基金

「もっと暮らしやすい地域をつくりたい」「そんな思いを持っていても、実行するのはなかなか難しいものです。毎月100円を拠出するだけで、私たちと同じ思いで地域に必要な仕組みをつくっている人たちが応援するのことができる、それが「街づくり夢基金」です。街づくり夢基金は2004年に助成事業を開始し、これまでの申請件数は456件、そのうち助成をうけた団体は159団体、助成金額はおおよそ2千257万円となりました。地域を豊かにするために一歩踏み出すこととして人々を応援することもできました。



街づくり夢基金

HP <http://www.yumekikin.com/>  
e-mail [yumekikin@yumekikin.com](mailto:yumekikin@yumekikin.com)

拠出者募集!!

たすけあい事業推進フロアまでのお電話下さい。  
(072) 293-4660

街づくりをすすめる人たちのつながりを生み出す基金  
この基金の特長のひとつが、拠出をしている人が公開選考会に参加して、助成団体を選考できるということ。公開選考会で拠出者と助成団体が直接顔を合わせることで、拠出者は団体の活動をさらに応援したいという気持ちになり、団体もどんな人たちが応援しているのかがわかり、助成事業を成功させようという気持ちを強くします。また、助成団体同士の情報交換の場にもなっています。



第2回  
理事会報告  
<7月22日(金)>

【6月度決算報告】

- 供給高 1億9,107万円  
(前年同月比91.90%)
- 組合員数 18,522名(前月比28)
- 一人あたりの出資金 80,264円

【6月の放射能検査結果】

6月は連合消費材13検体、エスコープ大阪独自の消費材1検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

※お詫びと訂正

『りっぷる163号』に掲載しました5月の放射能検査結果について、連合消費材である生椎茸(JA木更津市)がセシウム合計62Bq/kgで自主基準を超えたため供給を中止し、他の生産者の生椎茸を代替してお届けしました(該当の生椎茸はエスコープ大阪には供給していない消費材です)。お詫びして訂正いたします。

【決議事項】

①2016年度役員報酬について提案があり、協議し、決定しました。

【協議事項】

- ①2016年度年間取り組み「地域組織メンバーを集める」について提案があり、協議し、確認しました。
- ②企画参加者の名簿の管理と活用、企画時のアンケートの配布について提案があり、協議し、確認しました。
- ③「牛乳を登録して信州へ行く」の予算追加申請について提案があり、協議し、確認しました。
- ④竜おうみ米18RY(17年度産)の契約数(契約量)について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑤高浜原発再稼働への声明について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑥大阪市南・中河内地域の活動計画について提案があり、協議し、確認しました。

【報告承認事項】

- ①「豊共園」みかんシーズン予約登録活動の取り組みについて提案があり、確認しました。
- ②ホームページとフェイスブックの検証に向けたアンケートの実施について提案があり、確認しました。

編集後記

地域委員会企画で「有王隠堂農園」に行き、梅干し作りをしました。漬けた梅干しを持ち帰り、キッチンの冷暗所に置いて梅酢があがってくるのを待っていたところ…カビ発生!! 昨年までは同じ時期、同じ工程で漬けてもカビなど生えなかったのに。天日干しをした梅を元に戻し、しそを入れた後はカビが発生しないように冷蔵庫へ。家の中での冷暗所はないかも。出来るだけ、冷蔵庫で保管することが大切と思った出来事でした。(H)

発行:生活協同組合エスコープ大阪  
制作:W.Coバックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪  
〒590-0151 堺市南区小代727  
TEL. 072-293-4660  
FAX. 072-341-0022  
<http://s-osaka.seikatsuclub.coop/>

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

163号表紙

「今も愛され続ける『豚肉百一選』に負けられないレシピ集を作ろう」を読んで

紙面モニターさん

30年も前に、安全で良質な豚肉を食べるために活動される中で生まれた『豚肉百一選』のレシピ集。当時の作成メンバーの高木さんのお話から「豚ウイナークラブ」に対する熱い思いが大変よく伝わってきました。高木さんの思いも受け継いで、今年にはさらにバージョンアップしたスライス肉中心のレシピ集完成を期待したいと思います。

163号2面

「今年9月より生活クラブ共済『ハグくみ』の保障内容がさらによくなります!」を読んで

紙面モニターさん

新しくもっとよくなるのことで、今後も期待できるなあと思いました。ふつうの保険では難しいことですが、共済では可能なこともたくさんあると思いますので、夫の加入も検討したいなと思いました。

エコロ制度 6月度報告	
加入者数 867名	
組合員活動を支えるためのケア	3件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	1件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	1件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	0件

エスコープ大阪の子育てひろば	
日時	会場
9月15日(木) 10:00~12:00	ソフィア堺 (堺市街地地域)
9月7日(水) 10:00~12:00	SAYAKAホール (河内長野・大阪狭山地域)
9月20日(火) 10:00~12:00	さつき野東集会所 (南河内地域)
9月7日(水) 10:00~12:00	岬町望海坂第1集会所 (泉州地域)
9月6日(火) 10:00~12:00	和泉市コミュニティーセンター (泉州地域)
9月6日(火) 10:30~12:30	風来里 (泉北NT地域)

\*開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK  
\*組合員でないお友達との参加もOK  
\*事前申し込みは不要です  
\*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

Ripple おたよりネット

理事会事務局行き  
164号(2016.8.29)

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

(ペンネームOK)

●お名前 \_\_\_\_\_ ●地域名 \_\_\_\_\_

●班名 \_\_\_\_\_ ●組合員コード \_\_\_\_\_

該当項目に☑を入れてください    ☐『生活と自治』を購読します    ☐おたより

ご記入いただいた個人情報は規則に沿って管理し、生協エスコープ大阪の活動目的としてのみ使用します